



Press release

2019年9月6日

アクサ生命、新潟県と県民の健康づくりの推進に関する連携協定を締結

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO:安淵 聖司)は、2019年9月6日、新潟県(知事:花角 英世)と、相互に連携・協働し、県民の健康づくりを推進するため、協定を締結しました。

本協定は、新潟県と当社が相互に連携及び協働し、県民の健康づくりの推進に取り組むことによって、県民の健康寿命の延伸を図ることを目的としています。

本協定に基づき、当社は、保険事業や健康経営推進、企業として社会的責任を果たす取り組みなどを通して培った知見と人的ネットワークを新潟県の各種施策に役立てていただき、県民の皆さまの健やかな生活と事業の活性化を通じた地域の持続的発展のために取り組んでまいります。

(連携・協働事項)

上記の目的を達成するため、次に掲げる事項について連携・協働する。

- (1) 県内企業及び団体等における健康経営の推進に関すること
- (2) 県民の健康増進に関すること
- (3) その他目的を達成するのに必要な事項に関すること

アクサ生命は新潟県内において、1969年4月に亀田商工会議所の生命共済制度、1970年12月に同商工会議所の特定退職金共済制度の受託を開始するなど、県内商工会議所の共済制度の推進を通じて、事業所の皆さまの福利向上を図るべく、地域に根差した活動を続けてまいりました。

昨今では、従業員の健康増進を通じた事業の活性化と持続的発展に向け、事業所における健康経営の普及推進についても県内商工会議所と協働している他、地元メディアと連携し、県内企業ならびに県民を対象とした啓発活動なども積極的に行っています。

アクサ生命は、県民の皆さまの健やかで幸せな人生の良き「パートナー」となることを目指し、本協定の連携・協働事項に取り組んでまいります。

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

アクサ生命は、多様なステークホルダーに寄り添い、より良いパートナーとして「健康増進」のサポートを行っています。



※ESG投資とは、環境(environment)、社会(social)、企業統治(governance)に配慮している企業を重視・選別して行う投資



アクサ生命について

アクサ生命は AXA のメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。AXA が世界で培ってきた知識と経験を活かし、246 万の個人、2,200 の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2018 年度には、2400 億円の保険金や年金、給付金等をお支払いしています。

AXA グループについて

AXA は世界 63 ヶ国で 17 万 1,000 人の従業員を擁し、1 億 500 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2018 年度通期の売上は 1,028 億ユーロ、アンダーライニング・アーニングスは 62 億ユーロ、2018 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 1 兆 4,238 億ユーロにのびます。AXA はユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、AXA の米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI) による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします：

アクサ生命保険株式会社 広報部

電話：03-6737-7140

FAX：03-6737-5964

<http://www.axa.co.jp>
